

専門教育科目

講義科目

授業科目名	税理士のための簿記論Ⅲ	科目コード	配当年次	単位
担当教員	矢島 正	EJ24	3・4	2

科目の概要

簿記は企業という経済主体が行う経済活動を貨幣額に基づいて記録、計算し報告する技法をただ学ぶのではなく、すべての取引を複式簿記のルールに基づき、各論点についてあるべき結論を導出するための数字の動かし方（仕訳の仕方）を理解し、使いこなせる能力が必要である。
 本科目では、「資産・負債・純資産会計」の内容を体系的に理解し、会計処理ができるようになることを目指す。

科目の到達目標

- ①企業で行われる簿記処理を理解して、実際に仕訳処理などを行うことができる。
- ②簿記の資産・負債・純資産会計について体系的に学習し、税理士試験受験の基礎固めができる。

テキスト 『税理士 簿記論の教科書&問題集（3）』TAC税理士講座（編），TAC出版

テキストの読み方

- ①「資産・負債・純資産会計編」の各章に出てくる専門用語の意味を理解し、例題と練習問題は確実に解き、解答と照合してマスターするようにするとよい。
- ②基礎問題から確実に解いていく。会計知識は本を読むだけでは身につかない。実際に手を動かして問題を解くことが、知識の吸収を高める。
- ③テキストには POINT や各章の終わりにまとめがあるので、問題を解いて、知識が不足していると感じたら、そのつど振り返るようにするとよい。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
 または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。